

## 高校入試問題解答

### 国語

① (1) イ (2) ア (3) 使われる立場から使う立場へ視点をかえること。(例) (4) エ  
(5) はじめ…この・終わり…ろう(完答) (6) ① ③ ② ウ

② (1) エ (2) 鼻 (3) ウ (4) 千年の歴史を誇る京都の「伝統」を表すような人物。(例)  
(5) エ (6) a…掃除・b…花・c…日常の生活万端(完答) (7) 〈イ〉 (8) イ

③ (1) エ (2) イ (3) ア (4) はじめ…今まで・終わり…きけれ(完答) (5) ウ

#### 〈ヒント〉

- ① (1) Aとイの「ない」は単独で一文節になるので形容詞、イ以外はすべて「ぬ」と置き換えられるので助動詞である。  
(2) Bは前後の内容が対立しているので、逆接の接続詞「だが」があてはまる。Dは直前の内容に並べて直後の内容が述べられているので、並立・累加の接続詞「そして」があてはまる。  
(3) 前後から、「視点をひっくりかえす」ことで情報に「おぼれかけている」様子から「情報を使ってやろう」という態度に変わることがわかる。これと同じようなことが書かれた部分を探すと、④段落の第一文に「**使われる立場から使う立場への視点の転換**」が見つかる。  
(4) ③段落に「取材の立場とは、積極的、主体的に情報を使う立場のこと」とある。よって、取材者とは**自分から積極的・主体的に情報を集め使用していく者のこと**だといえる。アについては本文で述べられていないので不適切。イやウは情報が社会の中にあふれ、簡単にあつめることができることだけにふれており、「使う」ことについて述べていないので不適切。  
(5) どんな「決意」をすると、「情報量に悲鳴をあげる」のではなく、情報を「使いこなす」ようになるのかを考える。それは視点をかえることであり、「このおそるべき情報を使ってやろう」と「ふてぶてしい態度」をとることへの決意である。  
(6) ①～②段落では、水と人間の関係について書かれており、③段落以降では、情報と人間に関する内容が書かれている。水も情報も筆者は人間が**主体的にかかわることができるもの**として述べているので、主題は同じである。
- ② (2) Bの「鼻持ちならない」とは「言動や様子がいやみでがまんならない」という意味、Cの「鼻の下を長くしている」とは、ここでは「愚かである、でれでれしている」という意味である。  
(3) 筆者はレトロ・ブームから書き起こしており、「手近なところ」に懐古趣味を持つことを非難している。また、「佐々木」の例にあるように、長い年月にわたって守られてきたものに敬意を感じている。アやイやエのような記述はない。  
(4) 前の段落で、小林秀雄が「佐々木」を「国宝」と称したのを、初代のおかみさんが「立居振舞といい、心の遣いかたといい～一点非の打ちどころのない人物だったから」と述べ、次の段落で、二代目の達子さんの心づかいのすばらしさについて述べ、それを段落の最後で「千年の歴史を誇る京都の『**伝統**』」と、「**伝統**」という語を用いて称している。  
(5) 身近なところに範を求める「女性雑誌」だから、「佐々木」のような「かくれた」本物の存在には目が届かなかったと述べている。時代の先端を求め続ける存在と、時代の流れを超えたところにある存在とを比べながら、現代社会の浅はかさを指摘している。ア「『佐々木』の貧しい生活ぶり」、イ「時代の流れの速さを印象づけ」、ウ「人の気配もないような静かな生活を愛する『佐々木』」が、それぞれ不適切。  
(6) 「佐々木」のおかみさんが日々大切にしていたことを指して「ささやかなところ」と述べている。「神宿る」とは、ここでは「尊い」「すばらしい」ということを表している。お客さんを意識しながら毎日掃除や花を欠かさないように、日々の生活の細かなところにまで気を遣うやり方を、「なつかしい日本として」「かけがえのない思い出として」語りつぐべき遺産であると述べている。  
(7) 第二文の「悪者探し」ということばから、だれかを非難している内容のあとに続くとわかる。〈イ〉の直前の段落で、筆者は日本の繁栄を安易に憂う人々を非難している。  
(8) 自分の愛する「佐々木」を紹介しながら、それが現代の日本のあり方への批判にもなっていることを読み取る。ア「おだやかな言葉づかい」、ウ「反省すべき点」、エ「男性的な文体」「理論的に」が、それぞれ不適切。
- ③ (1) Aは「すぐに」、Cは「やはり、なんとんでも」、Eは「無事に」という意味のことばが入る。  
(2) Bの一～二行あとに「こひねがはくは～父を助けて給へ」とある。「孝行の心ざし」を持つ子どもは、虎に出会ったとき、**自分の命よりも父の無事を願った**のである。  
(3) 「虎口の難」の「難」は、「災い、災難」の意味で、アの盗まれる「災難」に同じ。イは「欠点」、ウは「難しい」問い、エは人の非を「責める」という意味である。  
(4) 「かやうの奇特」とは「このような不思議なこと」という意味であり、「父子を襲おうとしていた虎が、突如逃げ去った」という不思議な出来事を指している。  
(5) 父を思う子のおかげで災難をまぬがれたという内容にふさわしいものを選ぶ。

数 学

① (1)  $x+1$  (2)  $\frac{17}{40}$  (3)  $\frac{-14x+5y}{3}$

② (1)  $x=2, y=-3$  (2)  $x=4, y=1$

③ (1) 1200円 (2) A……80g, B……40g (3) のほりの距離…… 6 km, くだりの距離…… 8 km

④ オ

⑤ (1)  $2\sqrt{5}$  (2)  $\sqrt{3}$  (3)  $2\sqrt{7}$  (4)  $2\sqrt{6}$

⑥ (1)  $\sqrt{\frac{1}{2}} > \frac{1}{3} > -\frac{1}{2}$  (2) 100 (3) 3.46

⑦ (1)  $2x^2+x-3$  (2)  $-4$  (3)  $-16$  (4) 12 (5)  $-2$

⑧ (1) 6 (2) 12 (3)  $\frac{3-2\sqrt{2}}{2}$ , または  $\left(\frac{3}{2}-\sqrt{2}\right)$

⑨ (1)  $2\sqrt{2}$  (2)  $2\sqrt{5}$  (3)  $\sqrt{6}$  (4) 63

⑩ (1)  $4a^2+3ab-b^2$  (2)  $-5x+1$  (3)  $9x+1$  (4)  $\frac{1}{2}$  (5) 5 (6) 32

⑪ 1

⑫ (1) Cグループ,  $8n-4$  (2)  $ad-bc=a(a+9)-(a+1)(a+8)$   
 $= (a^2+9a) - (a^2+9a+8)$   
 $= a^2+9a - a^2-9a-8$   
 $= -8$

⑬ イ

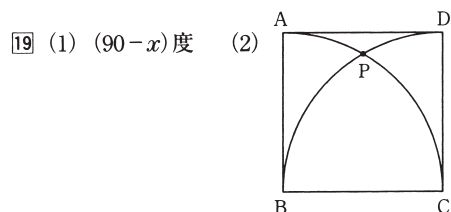
⑭ ア

⑮ (1) 81度 (2) 36度

⑯ (1) 6 (2) 1.7 (3) 20

⑰ (1)  $15m^3$  (2)  $12m^2$  (3) 23時40分

⑱ (1) (1, 2) (2) ①  $-1 \leq x \leq 3$  ②  $y=2x-3$



英語

1 (1) エ (2) ア (3) ウ (4) エ

2 (1) March (2) desk (3) Thursday (4) answer (5) season (6) international

3 (1) エ (2) イ (3) ア

4 (1) ア (2) オ (3) エ (4) イ (5) オ

5 (1) They were watching TV[television]. (2) He is[He's] making a (bird) house.  
(3) They are[They're] going to play baseball.

6 (1) ウ (2) エ (3) ウ (4) ア (5) イ

7 (1) camera (2) Tuesday

8 (1) エイアウ (2) ウアイエ

9 It arrives at 8:20.

10 (1) オ (2) カ (3) エ (4) ア (5) イ

11 問1 エ 問2 キューリー夫人が、約80年前、パリで最初の女性の教授になったこと。

問3 long can I borrow[keep] them? 問4 ア 問5 ① interested ② library ③ for ④ return

12 (1) エ (2) ウ

13 問1 ウ 問2 イ 問3 came, December 問4 ア 問5 ウ